

平成25年度 五霞町社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営事業

(1) 会務の運営

各種事業が円滑に遂行できるよう、法人を支える事業としての役割を担うことに努めた。  
新会計基準に移行するための経理規程の策定をした。

① 会員の状況

会員の種類	金額	会費収入	会員数	前年度会費収入	前年度会員数
一般会員	600 円	1,181,400 円	1,969	1,195,200 円	1,992
特別会員	2,000 円以上	90,000 円	45	153,000 円	76
法人特別会員	10,000 円以上	0 円		0 円	
合計		1,271,400 円	2,014	1,348,200 円	2,068

世帯数	3,207 世帯 (広報ごか4月号平成25年4月1日現在)		
会員の加入率	61.4%		
組合外での加入世帯	33 戸 / 案内発送	432 世帯	
(前年度)	43 戸 /	454 世帯)	

② 会員サービス

「社協会員の呼びかけ」の広報媒体や社協役員会等にて、会員サービス事業をPRし、情報の提供を推進する。

会員サービスの種類	件数
新生児のオムツ配布	7 件
米寿のお祝い贈呈	8 件
福祉用具貸与	
車椅子の1ヵ月無料	福祉用具貸与事業 10頁参照
ベッド 介護用品支給	7 件 (新規利用者)

全世帯配布の広報誌(社協だより、旬報)による住民への情報提供及び健康福祉課窓口、保健センター等の窓口への申請書設置によりサービス周知の徹底をすることが出来た。特に、今年度もケアマネジャー、地域ケア等関係機関の助力によりサービスの周知が出来た。

また、サービス受給世帯の許可を得て、広報誌やホームページに掲載しPRすることが出来た。

③ 広報啓発

各種広報紙・ホームページを通して、情報の提供を行なう。

(ア) 広報紙

名 称	発 行 月	発行回数	発行部数	主な配布先
社協だより	7月号・3月号	2回	1回 3,000部	全戸配布・組合外へ送付 町内公共施設
社協旬報	4.5月号・6.7月号・8.9月号・ 10.11月号・12.1月号・2.3月号	6回	1回 2,500部	全戸配布・組合外の会員へ送付 町内公共施設

(イ) ホームページの運営 URL: <http://www.goka-syakyo.or.jp/>

アクセス数 累計 92,526 名 (前年度アクセス数 26,766 名) 平成18年3月 開設

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
訪問者数	3,128	3,225	3,115	2,824	3,282	3,335	3,432	2,683	1,973	2,315	1,310	2,149	32,771	2,731

※ページごとの集計。トップページのカウンターとは異なる。

(2) 社会福祉協議会事業・活動

① イベント・大会等の開催状況

名 称	開催日 (予定)	参加人員	備 考
健康福祉まつり	9月16日 (月・祝)	—	今年度は、台風18号の関東直撃のため、参加団体の協議によりやむなく中止となる。 (会議開催状況は、健康福祉まつり事業参照)

② 各種活動

(ア) 入れ歯回収ボックスの状況

今年度回収	金 額	備 考
0 g 0 円	開始 (H19年11月) からの累計 136,120 円	福祉センター、役場へリサイクルボックスの設置 ・広報紙、ホームページ掲載、老人クラブ連合会等への呼びかけ活動

福祉センター・役場へ回収ボックスの設置。ある程度まとまってから回収。

(イ) ペットボトルキャップの回収活動

NPO法人エコキャップ推進協会からのエコキャップ受領書の内容

持ち込み日	回収個数
25年度	133,730 個 ( 311 Kg)
累 計 (21年度～)	1,241,400 個 ワクチン 1524.8 人分 CO2削減 9,605.9 Kg

リサイクルボックス設置箇所

- ・21年度設置：福祉センター、役場、中央公民館、植竹商店
- ・22年度設置：セントラル産業、東昌寺
- ・24年度設置：B&G海洋センター

③ 理事会・評議員会・監事会等開催状況

理事会 5回、評議員会 3回、監事会 2回 開催

実施期日	会議名	事業概要（会議事項）	開催場所	出席者数
5.20	監事会	・平成24年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出決算の監査	福祉センター	2
5.28	理事会	・五霞町社協指定通所介護事業所運営規程の一部改正の認定について ・平成24年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出決算の認定について	福祉センター	13 理事11 監事2
5.29	評議員会	・平成24年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出決算の承認について	福祉センター	24 評議員23 監事1
6.26	理事会	・社会福祉法人五霞町社会福祉協議会職員の給与の臨時特例に関する規程の制定について ・五霞町社協指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について ・五霞町社協指定居宅介護事業所運営規程の一部改正について ・平成25年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出補正予算の認定について	福祉センター	10
6.28	評議員会	・平成25年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出補正予算の承認について	福祉センター	23
9.24	理事会	・社会福祉法人五霞町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正の認定について	福祉センター	10
11.15	監事会	・平成25年度一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出中間決算の監査の実施	福祉センター	2
H26				
1.24	理事会	・社会福祉法人五霞町社会福祉協議会経理規程の全部改正の認定について	福祉センター	12
3.25	理事会	・社会福祉法人五霞町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正の認定について ・平成25年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出補正予算の認定について ・平成26年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業計画並びに一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出予算の認定について	福祉センター	11
3.26	評議員会	・平成25年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出補正予算の承認について ・平成26年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業計画並びに資金収支予算の承認について	福祉センター	28

④ 事務改善委員会

会議名	参加人数	回数	実施日			
事務改善委員会	職員 9 名	4	6月10日	7月1日	8月29日	10月3日
ワーキングチーム	職員 11 名	1	7月29日			

主な内容

- 福祉センターの運営・管理について  
業務（事業関係）
- アンケートの活用、修理関係
  - 介護職員初任者研修の実施についての検討 など

2. 共同募金配分事業

行政区長に募金委員としてご理解ご協力をいただき、各世帯に昨年度同様のご協力をいただくことが出来た。  
また、各団体や職域募金・法人募金及び学校募金においても共同募金の趣旨を十分にご理解、ご協力をいただくことができた。  
今後も、募金の使途について、広報活動等を通して、理解と協力を得られるよう努める。

共同募金		2,464,557 円（25年度実績、県共募からの配分は26年度）		(単位：円)	
戸別募金	特別募金	232,000	学校募金	130,555	
	一般募金	1,157,800	職域募金	322,936	
街頭募金		10,720	イベント募金	15,000	
法人募金		559,000	その他募金（公共施設設置募金箱、預金利子）	36,546	

歳末たすけあい募金		1,065,770 円		(単位：円)	
戸別募金		770,200	学校募金	5,567	
1円玉募金		165,631	職域募金	19,372	
法人募金（工業クラブ）		100,000	イベント募金	5,000	

毎年10月から12月の間に実施される共同募金、歳末たすけあい募金に寄せられた寄付金を社協活動で有効利用し、次のような事業を展開することにより地域福祉活動の充実強化に努めた。

(1) 老人福祉活動

- 老人クラブ連合会主催スポーツ大会や老人大学の活動援助
- 老人クラブによる友愛訪問活動 訪問件数 46件
- ふれ愛ベンチ設置助成事業・・・2件4台設置 新幸谷行政区、山王行政区

① 訪問福祉美容

茨城県美容業生活衛生同業組合の協力を得て、年3回実施。  
1回 2,500円(社協補助 1,000円)

実施日	利用人数	前年度利用人数
平成 25 年 7 月	8 名	4 名
1 1 月	8 名	4 名
平成 26 年 2 月	11 名	7 名
延べ人数	27 名	15 名

② 寝具類洗濯乾燥消毒サービス

社協の自主事業として固定利用者を擁し、25年度も利用者宅まで引き取りに行き配達することにより、利用者の要望に応えることができた。この事業の浸透により、寝具類等の衛生管理が困難な高齢者等に対し、健康的な在宅生活の衛生管理を図ることができるとともに、地域ケアとの連携が強化され、独居高齢者や高齢者世帯の実態把握ができるようになった。

利用状況 平成25年11月5日 実施 利用人数 9名 実施枚数 27枚

③ ひとり暮らし高齢者等配食サービス

毎回平均10名程度の利用があり、利用者の安否確認を兼ねながら、栄養バランスを整えた食事の提供を行っている。今後も、他制度や他機関(地域ケア、社協ケアマネ)との連携を考慮しながら事業を推進していきたい。

・配食利用登録者数 15名 配達協力会員数 3名

利用状況 (第2・4・水曜日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数(名)	7	8	9	8	8	8	8	11	14	15	12	12	120	10
配達日数(日)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2
配達総数(食)	14	15	17	15	13	15	16	20	24	26	22	22	219	18.3

④ ひとり暮らし高齢者等給食サービス

地域ケアシステム事業からの後援により参加者取りまとめを実施し、給食ボランティアの協力により低コストでバランスのよい食事提供をすることができ利用者にも今年度も高評価を受けた。

また様々な行政区の高齢者のコミュニケーションの場ともなり、お互いの交流が図られ、生き甲斐活動を実現できた。今後も社協事業として存続させ、余興や講座の創意工夫を行い、一層アットホーム感のある事業として発展させていきたい。

- ・平成26年 3月 4日(火) 11:30~14:00 福祉センター内 喫茶ぽかぽか
- ・参加人数 18名
- ・見守り協力員として民生委員児童委員協議会から4名参加

⑤老人大学

各講座や工場見学を通じて、学生の見識を高め、また学生同士の親睦を深めることが出来た。

7月の入学式から3月まで10講座を開催。

学生数50名・出席延べ人数304名・延べ出席率66.8%

日付	学習内容	講師・研修場所等	日付	学習テーマ	講師・研修場所等
7.9	入学式(第46回) 五霞町の現状について	五霞町長 染谷森雄先生	11.20 ~21	研修旅行	山梨県石和方面
8.27	「美しく健やかに年齢を重ねていくために」 「楽笑美健百寿」	エバースジャパン様 三浦栄悦先生	12.12	「ウォーキング講座」 「ポールウォーキング講座」	ごかみずべ公園
10.7	消費者問題出前講座 「複雑化する詐欺の手口に対処するために」	全国消費者生活相談協会 木村時枝先生	H26.1.20	新年会	
10.29	目で見える社会 コカコーラ工場見学	埼玉県さいたま市	2.4	大きな声を出そう 地域の食の文化を探る 製造過程見学	埼玉県加須市 フジッコ関東工場
11.6	地域の歴史を学ぶ 染物体験	栃木県真岡市 木綿会館	2.26	卒業式(第46回)	

(2) 障害者(児)福祉活動

- ・身体障害者福祉協議会並びに手をつなぐ父母の会の活動への助成及び健常者とのふれあい事業助成。

(3) 児童、青少年福祉活動

- ・子供会育成会並びに青少年相談員協議会の活動への助成。
- ・公園遊具整備事業・・・1件 山王行政区 遊具の修繕

(4) 福祉育成、援助活動

- ・ボランティア団体の育成援助
- ・民生委員児童委員協議会への活動支援
- ・心配ごと相談及び法律相談の開催
- ・法外援護費や災害見舞金の支給及び小口資金や行路人援護費用の貸付事業
- ・社協広報紙「社協だより」や「社協旬報」の発行
- ・AEDの窓口設置(福祉センター「ひばりの里」窓口)

(5) ボランティア活動育成事業

小学校の生活科学習のニーズに応えられるよう、小・中学生対象の体験学習・講座の開催により、ボランティアに対するの関心や意識の向上、またボランティアを提供する側の対処方法を少年期から学ぶことができた。

①清掃指導（東小学校全学年）	平成25年 6月13日（木）	19名	老人クラブ会員
②昔遊びの紹介（東小学校全学年）	平成25年10月26日（土）	15名	老人クラブ会員
③昔遊びの紹介（東小学校1年生）	平成26年 3月13日（木）	9名	老人クラブ会員

(6) 歳末たすけあい募金配分事業

・各行政区の民生委員児童委員の調査・協力を頂き、町内の福祉対象者（支援を必要とする世帯、独居老人世帯、身体障害者等）へ歳末たすけあい見舞金の配分事業を実施。

歳末たすけあい配分見舞金 1,058,000 円（県共同募金会へ送金持越し額 7,770円） (単位：円)

配分先	件数	1件当り配分額	合計	配分先	件数	1件当り配分額	合計
ひとり暮らし高齢者	46名	7,000	322,000	母子世帯	11名	7,000	77,000
ねたきり高齢者	7名	7,000	49,000	父子世帯	0世帯	0	0
認知症高齢者	6名	7,000	42,000	交通遺児	0世帯	0	0
高齢者世帯	1世帯	7,000	7,000	支援を必要とする世帯			
在宅重度心身障がい者	31名	7,000	217,000	世帯割	12世帯	10,000	120,000
在宅重度心身障がい児	1名	7,000	7,000	人員割	15名	3,000	45,000
支援を必要とする児童生徒	19名	5,000	95,000	長期入院患者	11名	7,000	77,000

3. 健康福祉まつり事業

初回に全体打合せ会議を実施。その後健康福祉まつり実行委員会を編成後、ステージ出し物や模擬店の内容を検討し、開催する方法をとる。

具体的には、各参加団体による模擬店や各種コーナー、ステージ出し物の実施と設営。

事業効果としては、健康福祉まつりを通じ、ボランティア団体相互の交流、及び一般町民との交流を深め、町全体のボランティアへの意識の向上に寄与している点があげられる。

・開催予定日 平成25年9月16日（月・祝） 台風18号直撃による悪天候のため中止

・会議の開催状況

日付	会議名	主な協議事項
H25 7. 8	ボランティア団体による 全体打ち合わせ会議	実行委員会の組織について 開催要項について 参加団体について 開催日程について
8. 21	実行委員会	当日の進行スケジュール ステージ出し物について 各コーナーの内容場所用意備品 各種確認事項（チラシ、ポスター等広報関係）
9. 15	参加予定団体による 緊急役員会議	翌日の開催について協議を行う

〔受託事業〕

4. 地域ケアシステム推進事業

一人暮らしの高齢者や障害者、要援護者の方から、日常生活の中で困っていることや、悩んでいることの相談を受け、保健、医療、福祉関係者と連携して問題の解決に努める。必要であれば民生委員児童委員がキーパーソンとなり、近隣のボランティアの協力を得て在宅ケアチームを作りみまもり等の支援を行う。地区担当民生委員と年3回同行訪問して、対象者の掘り起こしや啓発活動を行っている。

区 分	24年度末	本年度増	本年度減	25年度末
介護保険給付対象者	17	0	2	15
ひとり暮らし高齢者	48	1	1	48
その他の要援護高齢者	4	0	3	1
身体障害者	12	3	1	14
知的障害者	9	1	1	9
精神障害者	9	0	0	9
難病患者	1	0	0	1
子育て親	3	0	0	3
その他	8	1	2	7
計	111	6	10	107

相談件数（実人数） 30 件（25名）

会議

サービス調整会議 3 回 ケアチーム会議 11 回

研修

地域ケアシステムみまもり研修会 2 回

地域啓発活動

協力員だより「みまもり」 6 回 105 部（1 回）

五霞町保健・福祉事業のお知らせ 1 回 500 部

みまもり研修会 参加者 35 名 2 回

民生委員児童委員同行訪問 54 回

行政区長訪問 事業説明と協力 依頼 15 回

いきいきサロン支援 11 回

## 5. 福祉センター管理運営事業

町の地域福祉拠点として、地域の福祉情報発信の場としての機能を担う。

節電効果を得るため、電気の見える化を図り、職員、館内の利用者に周知を図る。

地域活動支援センター「太陽の家」が就労訓練を兼ね、エントランスホールにて売店を行っており、館内利用者やみずべ公園利用者から好評を得る。

落雷による被害や、施設老朽化による配管の腐食等の問題により、臨時休館しなければならないことが何度かあった。

施設の管理・運営（特に老朽化による修繕）について、今後も行政と連携を深めていく。

◎開館日数 264 日

臨時休館 平成25年9月3日（火） 1日（日）発生 of 雷雨により、停電。2日（月）ひばりの里への落雷被害を確認。  
復旧のための機械点検、修繕のため

平成25年11月6日（水）～11月21日（木）浴槽機器点検及び浴室タイル修繕のため

平成26年2月18日（火）～3月19日（水）排水管、給湯管の修繕工事のため。

浴槽・配管の塩素消毒（毎週月曜日） 浴槽内洗浄（隔月1回）

館内定期清掃（年2回） 浴槽配管洗浄（1回）

普通救命講習会の実施（平成25年6月3日）職員、シルバー受付職員

避難訓練の実施、防火管理の徹底（平成26年3月10日）職員、シルバー受付職員、デイサービス利用者

長期休館時の周囲の見回り（年末年始）

利用状況 個人来館者 35,058 名 昨年比 79.6%（平成24年度 44,045 名）

団体利用件数 115 件 昨年比 112.7%（平成24年度 102 件）

来館者数

(単位：名)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数(日)		25	27	26	26	27	22	26	17	22	22	14	10	264	
人数 (名)	町内	男性	1,299	2,015	1,878	1,283	1,285	986	1,253	630	1,159	1,205	727	400	14,120
		女性	1,029	1,482	1,457	991	986	713	954	516	867	892	499	355	10,741
		合計	2,328	3,497	3,335	2,274	2,271	1,699	2,207	1,146	2,026	2,097	1,226	755	24,861
	町外	男性	734	296	249	733	727	558	838	320	617	672	388	175	6,307
		女性	515	95	93	433	433	323	541	222	426	446	257	106	3,890
		合計	1,249	391	342	1,166	1,160	881	1,379	542	1,043	1,118	645	281	10,197
合計		3,577	3,888	3,677	3,440	3,431	2,580	3,586	1,688	3,069	3,215	1,871	1,036	35,058	

1日平均 133名

来館者のうち浴室利用者

(単位：名)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数(日)		25	27	26	26	27	22	26	17	22	22	14	10	264	
人数 (名)	町内	男性	1,281	1,981	1,841	1,248	1,260	947	1,206	577	1,112	1,155	683	384	13,675
		女性	892	1,396	1,338	887	898	645	869	384	750	807	306	283	9,455
		合計	2,173	3,377	3,179	2,135	2,158	1,592	2,075	961	1,862	1,962	989	667	23,130
	町外	男性	724	292	233	717	726	542	834	313	617	672	380	175	6,225
		女性	510	95	93	433	432	319	540	222	426	445	243	99	3,857
		合計	1,234	387	326	1,150	1,158	861	1,374	535	1,043	1,117	623	274	10,082
合計		3,407	3,764	3,505	3,285	3,316	2,453	3,449	1,496	2,905	3,079	1,612	941	33,212	

1日平均 126名

団体利用件数

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1・2	4	8	7	3	3	3	2	3	2	1	5	4	45
ホール	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	6
和室	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
相談室	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	4	4	63
合計	9	13	12	9	8	10	9	9	9	8	10	9	115

老人クラブ利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クラブ数	10	12	12	11	12	10	11	14	12	12	10	9	135
人数	117	161	157	123	112	89	94	143	131	148	105	85	1,465

## 6. 在宅福祉サービスセンター事業

日頃から親切なサービスを念頭に置き、利用会員の利便性を主体的に考え、臨機応変に福祉サービスを提供することができるよう留意した。

関係機関（地域ケア、ケアマネジャー、地域包括支援センター、民生委員）との連携活動により利用会員に適切なサービスが提供出来た。

今後も町内の各福祉機関や関係者と融合しながら利用会員との親密なネットワークを続けていきたい。

利用状況一覧表

(単位：依頼件数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
通院介助	137	133	115	134	130	103	128	150	128	119	106	113	1,496	124.7
身の世話	24	23	26	23	17	27	16	20	39	19	19	17	270	22.5
園児送迎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
外出・買い物	79	83	65	70	54	68	68	57	63	65	55	75	802	66.8
合計	240	239	206	227	201	198	212	227	230	203	180	205	2,568	214.0

協力会員 14 名 (男性 4 名 女性 10 名)

利用会員 229 名 (男性 57 名 女性 172 名)

※平成26年3月現在

## 7. 心配ごと相談事業

高齢者や生活困難世帯や障がい者を中心に町民から数々の相談が寄せられ、その内容は財産・精神・家族等、多方面の分野に渡っているが、相談員の人生経験や社会力により適切なアドバイスを送ることができた。

法律相談においては、生活の諸問題、債権問題や相続・離婚問題等の相談が持ちかけられ、弁護士の豊富な知識により、それらの相談事例の的確なアドバイスを行ない、相談者の安心した生活に結びつけた。

(1) 心配ごと相談 月2回 (年25回実施)

第2、第4火曜日午後1時30分から午後4時まで開催 年間2回(10月、3月)に全体会を実施。

相談員：民生委員児童委員3名、身体障害者相談員1名

月別実績

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
開催回数	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	25	2.1
件数	0	1	1	0	0	1	1	1	2	0	0	0	7	0.6

相談内容

家族 6件 職業・生業 1件

- (2) 法律相談 月1回(年10回実施) ※10月と3月は、予約無しで、相談は実施していない。  
 毎月最終火曜日午前9時より開催 相談員：ボランティア弁護士

月別実績

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
件数	2	3	2	3	3	1	0	4	1	3	5	0	27	2

相談内容

借金	4件	土地	1件	家庭・親族	1件	離婚	2件
相続	4件	人権・法律	1件	財産	6件	事故処理	2件
住宅	2件	苦情	4件				

## 8. 障害者移動支援事業

通学支援、身体を伴わない移動支援の方を継続して支援する。

移動を支援しつつ、利用者の意思決定や体調把握も行った。

利用者が外出する機会や自立した社会参加への意欲を持つことを重点に置き、安定した日常生活に繋げる。

今後も、外出における移動支援を安全・安心に保ち続けるよう支援していく。

サービス向上のための研修及び勉強会 16回

研修 5回

ヘルパーミーティング 4回

利用人数

利用者延べ人数 23名 昨年比 88.5% (平成24年度 26名)

利用回数 253回 昨年比 58.8% (平成24年度 430回)

利用状況(延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者人数	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	23	1.9
利用回数	35	38	18	20	4	22	24	21	21	17	18	15	253	21.1

## 9. 地域活動支援センター事業

福祉の店「太陽の家」の売店活動及び福祉センター「ひばりの里」での掃除作業が定着したことから、就労意識が高まり、平成26年4月より就労移行施設へ利用者1名が移行することができた。これにより、就労に対する意識の変化につながり、施設見学等を通して本人だけでなく家族と共に就労を目的とした支援が増えた。

また、平成25年度より新たな試みとして「ナイスハートバザール」へ自社製品の出品販売を始めたことにより、近隣施設との情報交換の場や施設間での交流が行えるようになった。

今後も発足2年目となる「太陽の家父母会」と連携し、地域に密着した活動も行っていきたい。

利用者 12名

会議等

事業関連会議・研修 63回 個人面談 11名

活動内容

口腔ケア	12回	誕生会	6回	ショッピング	1回	デイ納涼祭手伝い	2回
カラオケ	2回	遠足	1回	新年会	1回	節分会	1回
ひなまつり会	1回	施設見学	1回	ナイスハートバザール	2回		

境特別支援学校父母会視察来所、境町社協交流会来所、納涼祭・懇談会・作業参観、障害者福祉の集い、ふれあいまつり、クリスマス会、ナイスハートフェスティバル 各 1回

## 10. 日常生活自立支援事業

県社協から基幹的社協に指定され5年になり、当事業は各関連機関と連携し、利用者の発掘や当事業への適用に繋げることが出来た。今後も、地域ケアシステムや地域包括支援センター及び各福祉サービスと連携しながら、当事業を円滑に進めていきたい。

※現在の当町における実利用者の方（3件）

A. 知的障害者を含む多数の生活問題を抱える家族

→ 日常的金銭管理サービスと通帳管理（書類等預かりサービス）及び生活上の相談や助言等

B. 精神障がい者（1人暮らし）

→ 日常的金銭管理サービスと通帳管理（書類等預かりサービス）及び生活上の相談や助言等

C. 精神障がい者（1人暮らし）

→ 日常的金銭管理サービスと通帳管理（書類等預かりサービス）及び生活上の相談や助言等



②ベッド

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸与件数	11	11	9	8	8	5	5	7	6	6	7	7	90

③エアーマット

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸与件数	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14

13. 生活福祉資金貸付事業

県社協からの委託事業である当事業の展開により、低所得者等の資金対象に該当する世帯に、当該借入の申込があった資金の貸付を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進等を図る。

今後も、町民の様々なニーズに応えられるよう、委託元の県社協と密に調整を図りながら、丁寧かつ迅速な対応に留意していきたい。

平成25年度の貸付決定に至った実績

- ・ 貸付総額 0円
- ・ 利用件数 0件

各月に生活福祉資金の借入相談を受けた件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸与件数	1	3	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	10

《代表的な相談内容》

- ・ 病気による離職のため、毎月の生活費の不足額を補いたい → 総合支援資金の申し込みであったが、本人により申請無しとなる。
- ・ 失業給付の期限が切れた方の相談 → 生活保護 総合支援資金の相談  
→ 社協の小口資金の対応をし、シルバー人材センター登録
- ・ 生活保護受給開始までの生活費の調達 → 緊急小口資金の申し込みであったが、本人都合により必要無しとなる。

【 公益事業 】

〔介護保険事業〕

1.4. 指定居宅介護支援事業

町内の方を中心に地域に密着した事業所として、介護相談を継続し、気軽に相談ができる機会を設けたことで、サービス利用に繋げるケースが増えてきた。管理者を中心に職員ミーティングを行い、連携の強化を図り、利用者が住み慣れた地域で生活できるように支援を行うことができた。

法令遵守・介護支援専門員更新研修などに積極的に参加し、各介護支援専門員の資質向上にも努めた。

会 議

職員会議	50 回	業務改善会議	2 回
サービス担当者会議	297 回	事務改善委員会	3 回
公益ミーティング	6 回		

研 修

日本介護支援専門員協会 茨城支部研修会	1 回	古河さしまケアマネジャー研究会研修	4 回
介護サービス施設・事業所等管理者研修	1 回	介護支援専門員 専門研修Ⅱ	1 名
五霞町ケアマネジャー連絡会議	1 回	介護支援専門員従事者基礎研修	1 名
ターミナルケアについての研修会	1 回	生活習慣病予防教室	1 回
認知症疾患フォーラム	1 回	社会福祉法人新会計基準についての勉強会	1 回
茨城県社会福祉協議会職員連絡協議会県西支部研修会	1 回		

その他

避難訓練	1 回	普通救命講習	2 名
介護相談	24 回	(相談 6 件)	

利用人数

利用者延べ人数 1,349 名 昨年比 119% (平成24年度 1,137 名)  
(平成23年度 957 名)

利用状況 (延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要介護1	38	37	39	37	36	38	35	37	37	41	43	47	465	39
要介護2	28	34	36	37	38	35	41	42	41	40	37	36	445	37
要介護3	15	14	12	13	13	15	21	16	16	17	22	20	194	16
要介護4	10	13	9	12	11	13	19	20	20	15	17	13	172	14
要介護5	7	6	9	7	6	8	6	5	5	5	5	4	73	6
合計	98	104	105	106	104	109	122	120	119	118	124	120	1,349	112

## 15. 指定訪問介護事業

五霞町の介護保険計画にのっとり、訪問介護事業の強化、運営を行ってきた。就職説明会等にも参加し登録ヘルパーの確保にも力を入れてきた。引き続き登録ヘルパーの確保を行うとともに、技術・知識のスキルの強化を図るために、事業所内研修を充実させ、さまざまな状態の方にも対応できるように心掛けたい。

継続している誕生日プレゼントは利用者に大変好評であったため今後も継続していく。

今後もスタッフ一同「元気に・明るく・笑顔で」をキャッチフレーズに地域に密着した事業所を構築していく。

月日	内容	出席人数	月日	内容	出席人数
4月25日	ホームヘルパーの接遇マナー	4	8月8日	事故発生の対応・ヒヤリハットとプライバシー保護	5
5月21日	ホームヘルパーの接遇マナー、調理実習	5	9月27日	介護記録の書き方	3
5月29日	事業管理者研修	1	11月28日	清拭等清潔介助とインフルエンザ	4
5月30日	認知症とはどんな病気	4	2月6日	身体観察について	3
6月7日	ニチイオムツ研修会	1	2月13日	感染症及び食中毒について	4
6月14日	おむつ交換	3	2月25日	管理代表者研修	1
6月14日	(株)新橋なかむら給食試食会	2	2月3日	新人研修	1
6月21日	登録ヘルパーおむつ交換	3	2月12日	新人研修	1
6月24日	第1回訪問介護員中央研修会	1	2月14日	新人研修	2
7月16・29日	サービス提供責任者研修	1	2月24日	新人研修	1
8月1日	日常生活で起こる熱中症	4			

ヘルパーミーティング  
ケアカンファレンス  
サービス担当者会議等

4回  
19回  
29回

事前調査及び契約  
新規利用者及び更新利用者ケア会議

18回  
17回

その他

福祉センター避難訓練  
就職説明会関係

1回  
5回

利用人数

利用者延べ人数 261名 昨年比 155.4%

(平成24年度 168名)  
(平成23年度 178名)

利用状況（延べ人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	65	5.4
要支援2	2	3	3	4	4	3	2	2	2	2	2	2	31	2.6
要介護1	4	3	3	4	5	4	4	4	4	5	5	3	48	4.0
要介護2	1	2	2	3	3	4	5	5	7	7	6	3	48	4.0
要介護3	2	3	1	2	2	4	4	4	4	4	3	5	38	3.2
要介護4	0	0	0	1	1	1	2	1	2	2	2	1	13	1.1
要介護5	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	18	1.5
合計	15	18	16	21	22	22	23	23	26	27	26	22	261	21.8

16. 指定通所介護事業

昨年度に比べ利用人数が徐々に増えてきたが、体調不良等によるお休みもあり、思うように実績が伸びてはいないが、現状を維持している。

室内でのレクリエーション等を強化し、作り物等の新しいことも行うことができた。

今後も利用者の要望を反映し、従事者一人ひとりが同じ目標にそって行動が行えるよう、綿密な計画やコミュニケーションを図ることができるよう対応していく。また、ボランティア等の受入や外出行事も増やしていき、楽しんでもらえるよう企画する。

行 事

誕生会	36回	ショッピング	16回	食事会	36回
お花見	5回	バラ見学	7回	おやつ作り	2回
運動会	6回	おやつセレクト	18回	彼岸花見学	4回
納涼祭・敬老会・クリスマス会	各3回	アロマセラピー	12回	スコップ三味線	1回

活 動

リハビリ 毎週火・木・金曜日 入浴デイ（振替利用） 1回

作り物（利用者作成）

小物入れ、メガネ立て、お菓子入れ、三段ダンス、絵馬、干支キーホルダー、お雛様、お花、カレンダー  
うちわ、七夕飾り、爪楊枝入れ、クリスマスリース

レクリエーション

的当て、輪投げ、積立ゲーム、マネーゲーム、カルタ、絵合わせ、言葉作り、なぞなぞ、折り紙、トランプ、将棋  
習字、ビンゴ、モンスターボックス、玉入れ、カラオケ、すごろく、ちぎり絵、ボーリング、風船うちわ、じゃんけん合戦  
詰め放題、風船バレー、ボール送り、わか回し、脳トレ、神経衰弱、間違い探し、クイズ、靴飛ばし、どきどきプーさん  
計算、リズム体操、くじ引き、棒倒し、お料理ジャンケン、ゴミ箱作り、時間当てゲーム、伝言ゲーム

ボランティア受け入れ

地域ボランティア	6名	13回	出し物ボランティア	2名	2回
介護等体験研修	1名	5回	学生ボランティア	2名	8回
五霞中学校職場体験	1名	1回			

研 修

事前調査（新規）	22件	事前調査（状態確認）	2件	給食会議	12回
サービス担当者会議	75回	サービス向上の為の研修	37回	普通救命講習	1回
避難訓練	1回				
ミーティング（利用者の情報交換や対策、職員の情報伝達）…デイサービス実施日毎日（16：50～17：10）					

利用人数

利用者延べ人数	4,971名	昨年比	113.5%	（平成24年度 4,378名）
				（平成23年度 3,606名）

利用状況（延べ人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	16	13	12	14	8	8	8	7	6	6	15	17	130	10.8
要支援2	96	73	77	97	101	67	77	65	53	44	40	38	828	69.0
要介護1	135	122	129	123	150	124	134	128	122	131	128	151	1,577	131.4
要介護2	76	93	107	119	101	95	114	116	107	116	95	110	1,249	104.1
要介護3	47	48	34	35	33	34	43	20	18	19	16	18	365	30.4
要介護4	36	35	35	46	55	46	72	68	65	64	45	49	616	51.3
要介護5	7	7	8	32	22	17	25	19	22	19	16	12	206	17.2
合計	413	391	402	466	470	391	473	423	393	399	355	395	4,971	414.3

17. 地域包括支援センター事業

支援が必要な対象者（要支援1・2）にはケアプランを作成し、心身機能の改善や環境調整などを通じて要介護状態にならないよう関連機関と連携をとりながら自立を支援した。

地域ケアシステム推進事業や各種関係機関との連携をとり情報の共有化を図り、高齢者や家族が地域において尊厳ある生活が送れるよう支援した。

一般高齢者には基本チェックリストによる実態把握調査をおこない、定期的な運動やコミュニケーションを通じて、在宅で自立した生活を営んでいただくことを目的に、一次予防事業では「元気はつらつ倶楽部」、二次予防事業では「元気あっぷ教室」「ぴんちゃん教室」をはじめとした介護予防事業を展開した。

また、知識及び技術の向上に努め各種研修に参加し、警察や市町村等と連携しながらオレオレ詐欺・送り付け商法等の悪徳商法被害防止に努めた。

会 議

五霞町高齢者虐待ネットワーク運営委員会	1 回	地域ケアシステム推進事業と合同ミーティング	12 回
地域ケアシステムサービス調整会議	3 回	職員会議	9 回
五霞町保健師情報交換会議	3 回	法テラス県西連絡協議会	1 回
五霞町ケアマネジャー連絡会議	1 回	認知症疾患連携協議会	5 回
地域包括支援センター運営協議会	1 回	茨城県地域包括支援センター連絡会議	1 回
シルバーリハビリ体操指導士会会議	5 回	公益事業ミーティング	6 回

研 修

シルバーリハビリ体操普及講習会	1 回	古河さしまケアマネジャー研究会研修	2 回
地域包括支援センター職員（現任者）研修	1 回	認知症介護アドバイザー養成研修	2 名
認定調査現任研修	1 回	マイクロソフトワード実務活用研修	1 回
シルバーリハビリ体操士会特別講習会	1 回	労働災害防止のための安全衛生研修会	1 回
シルバーリハビリ体操士3級養成研修（講師）	1 回	境・五霞人権教育研修会	1 回
介護予防事業評価手法に関する研修会	1 回	住宅改修研修会	1 回
地域ケア会議運営に係る実務者研修	1 回	成年後見人制度研修	1 回
市町村保健師研修会	2 回	社会福祉法人管理代表者研修	1 回
市町村介護予防事業担当者研修会	1 回	救急救命講習会	1 回
法制執務研修	1 回		

その他

避難訓練	1 回
------	-----

介護予防ケアマネジメント事業

サービス利用についてのサービス担当者会議	104 回
----------------------	-------

利用人数

利用者延べ人数 610 名 昨年比 85.3% (平成24年度 715 名 )

利用状況（延べ人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	24	23	23	23	22	20	20	18	18	18	19	20	248	21
要支援2	33	31	31	35	36	32	30	28	29	26	25	26	362	30
合計	57	54	54	58	58	52	50	46	47	44	44	46	610	51

## 二次予防事業対象者把握事業

7行政区（山王山、山王、江川、幸主、冬木、両新田、原宿台）の高齢者（65歳以上）に基本チェックリストを郵送・回収し、二次予防事業対象者を抽出（介護認定者は除く）

配布者数	889名	} 計	889名
回収者数	742名		
訪問や電話等で確認	147名		
回収+確認率	100%		

## 二次予防事業

対象者数（実人数）	188名	内訳（重複あり）	
対象者数（延べ人数）	435名	運動器の機能向上	111名
		栄養改善	5名
		口腔機能の向上	107名
		閉じこもり予防・支援	34名
		認知機能の低下予防・支援	95名
		うつ予防・支援	83名

## 通所介護予防事業

参加者数（実人数）	22名	内訳（重複あり）	
参加者数（延べ人数）	26名	運動機能向上「元気あっぷ教室」	9～11月 6回 8名
			12～2月 6回 8名
		栄養改善、口腔機能向上、認知症・閉じこもり・うつ予防「ぴんしゃん教室」	9～2月 14回 10名

## 一次予防事業

元気はつらつ倶楽部（元栗橋・土与部・堀之内・新幸谷・川妻・小手指・小福田・大福田）	184回	1396名（延べ人数）	140名（実人数）
ぽかぽか茶の間（5・12月）	2回		

## 広報

社協旬報（4, 5・6, 7・8, 9・10, 11・12, 1・2, 3月号）	6回	社協だより（7・3月号）	2回
「毎日鍛えて心と体の若さを保とう」ポスター全戸配布	1回	地域ケア協力員だより「みまもり」	2回

## 任意事業

家族介護教室 12月9日	1回	40名（実人数）
--------------	----	----------

〔障害者自立支援事業〕

18. 指定居宅介護事業

障害者のニーズが多様化しサービスが必要な方を支援していくために、随時社内研修を行とともにヘルパーの養成を行う。今後も、利用者の獲得を進めていき、事業の活性化を図る。

サービス向上のための研修及び勉強会	15回	ケアカンファレンス	2回
研修	4回	ヘルパーミーティング	4回
新規利用者契約	1回	就職面接会等の参加	5回

利用者延べ人数	13名	昨年比	86.7%	(平成24年度	15名)
利用回数	390回	昨年比	90.5%	(平成24年度	431回)

利用人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	1
利用回数	32	34	32	35	35	30	36	31	30	28	31	36	390	33

〔自主事業〕

19. あったかサービス事業

高齢者や障がいのある方々が安心して、住み慣れた家庭や地域で生き生きとした生活が出来るよう、今後も介護保険では補えない部分の補助事業として努める。

介護保険の限度額を越した方の利用があり、事業としての売り上げを大幅に増やした。

サービス向上のための研修及び勉強会	15回	ヘルパーミーティング	4回
研修	4回	就職面接会等の参加	5回
新規利用者契約	1回		

利用者延べ人数	20名	昨年比	166.7%	(平成24年度	12名)
利用回数	257回	昨年比	279.3%	(平成24年度	92回)

利用人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者人数	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	20	2
利用回数	9	8	8	31	35	19	36	25	31	27	19	9	257	21